

くわばら荘・双樹園 第2回地域連携推進会議 議事録

日時	令和7年9月20日（土）視察9：30～10：50 会議：11：00～12：20
場所	双樹園 集会室
出席者	くわばら荘利用者：1名 双樹園利用者：1名 くわばら荘保護者：1名 双樹園保護者：1名 地域関係者：1名 有識者：1名 施設長：1名 職員：1名

議題	1. 前回指摘事項に関する取り組みの進捗 2. 施設の現状と課題 3. 視察所見 4. 意見交換 5. その他
議事の経過	1. 前回指摘事項に関する取り組みの進捗 施設長より、第1回会議時に頂いた意見や指摘に関する取り組みの進捗状況について報告をおこなった。 * 前回会議では、双樹園の周囲の樹木雑草の繁茂について、地域の皆様から苦情があるとの指摘があった。地元の方の手助けもあり、双樹園では玄関周りの樹木の剪定を実施することができた。また、害虫問題が発生した双樹園北寮のメタセコイヤ、桜など約15本の樹木を年度内に伐採する計画をすすめている。 * くわばら荘の利用者の高齢化への対応について、4月より介護保険サービス（訪問看護・訪問リハビリ等）を利用して利用者が快適な暮らしができるように改善を図った。訪問リハビリによって身体機能が回復し、くわばら荘の2階で生活することが可能になった方もいる。 * 世話人の厳し目の声掛けがあったとの指摘があった。虐待の定義は広く、威圧的な言葉かけは心的虐待に該当する。職員の意識として言葉かけは低く捉えられがちなので、正規・非正規を問わず、全職員が虐待防止に関する研修を受けていくことを継続して取り組んでいく。 * ①双樹園・くわばら荘利用者と地域社会、②双樹園・くわばら荘利用者と法人内の他施設の利用者が繋がる機会を増やしてはどうかという提案があった。なかなか明快な結論は出せてはいないが、今年度も地域の皆様にも参加いただけるよう、双樹園でふれあい動物園を実施する計画をすすめている。法人内の他施設の利用者との繋がりづくりに関しては、以前、のぞみ舎で実施していたカフェを引き継いだ出張カフェを双樹園の食堂で実施してもらった。 * モニタリングの際に「いつかは施設を出て、外で生活してみたい」という希望を持っている利用者に対するフォローについて、家族の意向や金銭的に自立できるか否かなど、様々な課題をクリアしていくことや、意思決定を支援し、自立度を上げていく支援に取り組んでいく必要がある。利用者、職員と一緒に考えて支援を始めている。 2. 施設の現状と課題 施設長より、双樹園・くわばら荘の現状と課題について説明がおこなわれた。

【双樹園】

- * 前回会議を実施した同日に双樹園の利用者が増えた。現時点で双樹園は定員 30 名に対して、利用者 26 名（男性 23 名、女性 3 名）。くわばら荘は定員 8 名に対して利用者 7 名（すべて男性）。自宅から通所している方は 6 名。合計 39 名が日中、双樹園で過ごしている。
- * 双樹園は昭和 52 年に建てられてため、バリアフリー対応になっておらず、利用者の高齢化や障害の重度化に伴い、手すりやスロープの設置、バリアフリー居室 2 室の整備など、ハード面の改修・整備を順次、図ってきている。
- * 本年度はソフト面の整備をすすめるため、強度行動障害の支援に関する研修を受けた職員を増やし、その研修効果の発揮に期待している。
- * 双樹園の北寮付近で害虫が発生し、居室に入ってくるという問題が発生した。利用者の健康被害は確認されていないが、害虫発生の原因となっていた樹木（メタセコイヤ、桜など約 15 本）の樹木の伐採を今年度中に実施する。

【くわばら荘】

- * くわばら荘南側の電線や建物に触れていた樹木の伐採・剪定を実施した。雑草の処理も含めて双樹園とともに予算を立てて、引き続き整備を図っていく。
- * 利用者の高齢化、障害の重度化に対応するため、介護保険のサービスや介護ベッドを利用して生活している方がいる。
- * 利用者の高齢化と同時に保護者も高齢化している。くわばら荘も双樹園も利用者と保護者の関係が希薄化しており、行事の際に来荘・来園してもらえよう、案内をしている。また、親なき後に備えて、第二、第三の保護者を決めておいて欲しいという依頼をしている。

3. 視察所見

- * 施設を視察していただいた所感やご指摘などを頂戴したい。

- * 前回視察した時に双樹園の食堂に設置されている自販機のペットボトルのゴミが溢れていて気になっていたが、ゴミ箱が増えていて、環境の改善が図られていた。

双樹園・くわばら荘ともに、利用者の高齢化や年齢構成にあわせて施設の改修・整備を図っていくことは継続して欲しい。

双樹園北寮では、女性が 1 階、男性が 2 階で生活しているが、男女別生活の観点から建物内の階段は施錠されており、男性利用者は外階段を利用している。外階段を使う時には安全への十分な配慮が必要。

- * 双樹園は建物が古く、外観の経年劣化は進んでいるが、風呂、トイレ、設備など、清掃管理が行き届いている。

双樹園北寮の 2 階に上がったが、本来見える田園風景が木に遮られて全く見えない。メタセコイヤは秋になると葉が田に落ちる。すぐに腐食し肥料になるというものではないので、農家の方も困っていた。伐採をするということであるが、地元の方達も喜ぶと思う。

視察の際もそうだが、地元の者として利用者の皆さんにはよく会うので、普段も顔を見た際に元気よく挨拶をしてくれる。良い傾向だと思う。

*利用者の方からあいさつをしてもらうのではなく、職員の方から率先して利用者や地元の方達、来園する方達に挨拶をしていく関係性を積み重ねていきたい。

*利用者みなさんの声も聞いてみたい。

*ペットボトルの蓋で作品（船）を作り始めている。休みの日には作った模型（船や車飛行機）で総合火力演習ごっこやゲームをしている。

*大勢の方達に見てもらえるように、作品づくり頑張ってもらいたい。来年のこの会議では完成した作品を持ってきていただきたい。

*今日はお休みの日ですが、何をして過ごしていましたか。

*休みの日には近くの自販機にジュースを買いに行っている。今日は雨が降っているので散歩ができない。休みの晴れた日には散歩をしている。

くわばら荘では、休みの日に皆で掃除をしている。今日はきれいなところを見てもらえたと思う。くわばら荘の生活で困っていることは無い。

*やっと涼しくなってきたので、体を動かして、元気に過ごしてください。

4. 意見交換

*のぞみ舎でおこなわれていたカフェについて、良く存じ上げている。双樹園でおこなわれた出張カフェは、平日だったのか。

*出張カフェは、今回、初めておこなったが、平日の生活介護で法人内の系列事業所からパンなどを運んで出張してもらった。

*のぞみカフェは地域の方達が客として来訪されていた。カフェを常設している施設や特別支援学校でも臨時のカフェを開設し、地域の方達が訪れている。そのような方向性はあるのか。

*最終的にはその方向性で、一時期は貸店舗など検討もしていたが、人材面や食品衛生に関する許可面など、対応が難しく、まずは利用者がパン作りに関わる段階から、ひとつ進めてパンを焼いて出張するカフェの段階に進んでいる。最終的には地域の方達に来訪していただくカフェになるという構想が描かれている。

*地域の方達に販売するには食品衛生に関わる許可など対応が難しいと思うが、客としてではなく、ボランティアで来て関わってもらうとか、関り方の選択肢を広げていくと、それぞれの方達の欲求が満たされるのではないか。

*利用者は毎日の外出は難しい。施設の外部の方達との接触機会を持つ重要性は理解している。「施設に来てもらう」、「施設から出かけていく」という機会を増やすことで、

	利用者のストレス解消など、日常生活に役立つと思うし、そのような支援に努めていきたい。 施設は重い障害を持つ方達を閉じ込めておく場所ではないと考えている。いろいろな支援技術を身にける研修を受けて、利用者の支援に役立てて、利用者の生活の向上を図りたい。また、そのような研修に取り組む職員への支援もしていきたい。 ＊孫が帰省してきた際にキュウリの苗植えを手伝ってもらった。草花や野菜などを育てる活動を双樹園では取り組んでいるか。 ＊施設として草花や野菜の栽培などはしていない。自ら蒔いたもの、育てたものを食べた時のおいしさを経験することは良いことだと思う。そこまではできていないが、祖父江でギンナンの収穫の手伝いをおこなっている。利用者も収穫作業の手伝いをとても楽しみにしている。 ＊現在は草が生い茂っているが、双樹園には農地がある。何かを育てたい人がいれば、地元の農家の方が先生になって教えてくれるので、活用すると良いのではないか。市内の保育園では、畑を管理してくれる近隣の方の手も借りて、園児たちが園の農園で野菜の栽培をしているらしい。 ＊日中活動のメニューを増やせて良いし、地域交流の活動としてもやっていけると良いと思う。 今回、頂いた指摘や意見などをもとに、利用者の生活の向上や地域との関係性の強化に努めていきたい。今後またこの会議で情報交換や取り組みの報告などを図りたい。
決定事項	＊決定事項無し ＊次回会議は令和 8 年度